

## 永年の功績・善行をたたえて もみじ賞・かたくり賞を表彰



表彰式に出席された皆さん

永年にわたり、市の発展に寄与された17人と1団体に対し、その功績をたたえ、令和3年度のもみじ賞・かたくり賞が贈られました。

受賞者は、もみじ賞が清水明さん、東田利幸さん、廣瀬渡さん、山田康さん、足立一郎さん、角悟さん、石田隆志さん、井本健二郎さん、中山謙逸さん、荒樋昇誠さん、開田昇さん、北野晶三さん、井上昌義さん、近藤丈夫さん、瀬尾せつ子さん、豊嶋昭道さん、荻野克己さん、かたくり賞が山名酒造株式会社でした。

## 丹波竜化石工房 2021 冬期特別展 「パレオ・ハペ展」開催



持参した虫眼鏡でワニの化石標本を覗き込む子どもたち

冬期特別展のパレオは「太古の」、ハペは「両生爬虫類」を意味しています。丹波地域にひろがる1億1千万年前の地層からは、爬虫類の化石も多く発見されていることから、カエル類やトカゲ類の化石などを、3月6日（日）まで展示予定です。

来館者の一人は「丹波竜化石工房には、特別展の度に来ています。来るといつも新しい発見があります」と興奮した様子で話しました。

## 子ども農業体験教室 「みわかれふあーむ」修了式

12月11日、水分けフィールドミュージアムで農業体験教室「みわかれふあーむ」の修了式が行われました。昨年5月に小中学生11人を対象に開校し、野菜などの苗植えから収穫まで全6回体験。修了式では修了証書の授与や収穫した野菜の試食会が行われました。

参加した喜多村奏佑くんは「農業は大変だと思っていたけど、楽しかった。食べるだけでなく、作るのも興味がわきました」と話しました。



収穫した野菜を手にポーズをとる受講生の皆さん

## 新春にかかせない縁起物「若松」 生花松とアレンジメント寄贈

12月27日、山南地域の丹波若松生産者会から生花松とアレンジメントフラワーの寄贈を受けました。同地域の坂尻地区は、愛媛・茨城に並ぶ若松の三大生産地の1つとして、国内生産量の約3割を生産しています。

同会の衣笠盛幸会長は「近年、栽培にかかせない種が全国的に不足していますが、若松の名産地として頑張っている」と話しました。



市長に若松について説明する丹波若松生産者会の皆さん